

内閣府、沖縄県、地元地域らと協力体制を強化  
来年の開業に向けて、交通対策計画の構想を発表



株式会社ジャパンエンターテイメント（沖縄県名護市：代表取締役 CEO 加藤健史、以下ジャパンエンターテイメント）は、2025年の開業を目指す沖縄北部のテーマパーク JUNGLIAにおける交通対策計画の構想を発表しました。2020年から現在まで、第三者機関を通して継続的に交通シミュレーション調査を行い、国や地域行政、地元住民の方々との対話を重ねてきました。来年の開業に向けて、地域との連携をさらに強化し、交通渋滞の抑制（緩和）・交通利便性の維持向上・北部来訪者の観光利便性の向上を図ります。

交通シミュレーション結果と地域の声を踏まえ、国や県など関連機関に周辺道路・交差点等の改善を積極的に働きかけています。名護東道路伊差川IC交差点の右折車線追加・延伸や、白銀橋（西）交差点の信号機移設・右折帯延長等すでに対応済みのものを含め、今後様々な改善を調整中です。

## 【JUNGLIA 交通対策計画構想】

本構想での交通対策は、地元住民の意見と周辺状況、交通シミュレーションの結果を踏まえ「マイカー来場の“抑制化”・車両流入の“分散化”・車両通行の“円滑化”」を解決の基本方針として作成した独自の対策プランです。

- ①バス・フェリー：沖縄県各所からのバス・フェリーの利用促進
- ②駐車場分散：駐車場の分散配置とスマート化対応
- ③ルート分散：車両アクセスルートの分散設定
- ④道路改良促進：周辺道路・交差点の改良促進

## 【交通シミュレーション実施報告と対策】

### ・交通シミュレーション結果① 2020年度

内容：来園主要ルートである県道84号線名護本部線と関連交差点への影響を調査。

結果：パーク入口と県道84号線交差点での右折帯および信号の設置が必要。白銀橋（東）の信号現示の改良が必要。行政に提言。

### ・交通シミュレーション結果② 2021年度

内容：来園3ルートの交通分散と主要道路への影響を調査。同予測に基づく関連主要道路の交通量を休日・平日別に測定。

結果：主要ルートの交通分散は、引き続き対策が必要。自家用車・バス別のルート設定や時間帯別・方向別での詳細シミュレーションを実施。

### ・交通シミュレーション結果③ 2024年度

内容：周辺主要道路および主要交差点の時間帯別交通量と影響の予測。

結果：繁忙期、県道84号線は朝のピーク時（8～9時）は現況より、交通量の増加と速度低減が発生するとの調査結果が出ました。ただし、右折帯の設置により現況と同じ結果となることが考えられます。

## 株式会社ジャパンエンターテイメント

沖縄北部新テーマパークの企画・開発および運営を目的として2018年6月に設立。「沖縄から日本の“未来”をつくる」をミッションとし、沖縄から日本の観光産業を変革すべく、沖縄北部地域経済への貢献、沖縄県観光産業への貢献、観光立国日本経済への貢献を目指し事業を推進。真の地域活性化を図り、経済力の向上に寄与することが、その土地での社会的課題解決に繋がると確信し、開業に向けて日々取り組んでいる。

公式HP▶ <https://www.japan-entertainment.co.jp/>

### 【問い合わせ先】

株式会社ジャパンエンターテイメント

広報担当：廣瀬、三木田 pr@japan-entertainment.co.jp